

The Original
smarTrike®

Ride on! Keep exploring.

Touch steering™

With the Lightest Touch, Maneuvers Like a Stroller

Explorer™



目次

1. ご使用上の注意	P 1
2. 梱包内容	P 2
3. 各部名称	P 2
4. 組立て方	
◆後輪の取り付け	P 3
◆泥除けの取り付け	P 3
◆ハンドルの取り付け	P 3
◆前輪の取り付け	P 4
◆イスの取り付け	P 4
◆安全ガードの取り付け	P 4
◆安全ガードの取り外し	P 4
◆キャノピーの取り付け	P 5
◆カゴの取り付け	P 5
◆バッグの取り付け	P 5
◆各ホルダーの取り付け	P 5
◆コントロールバーの取り付け	P 6
◆収納バッグの取り付け	P 6
5. 各部の操作方法	
◆ハンドルと前輪の連動のさせ方	P 6
◆リクライニングの仕方	P 6
◆クラッチの操作方法	
一人で漕げる時	P 7
一人で漕げない時	P 7
◆フットレストを下ろす	P 7
◆ペダルの準備	P 7
6. Q & A	P 8
保証書	

お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取り扱い説明書は必ずお読みいただき、安全上の注意事項を良くご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでも参照できるように大切に保管してください。

① ご使用上の注意

おケガのない様、安全にお使いいただくために、必ず以下の事柄をお守りください。



ご使用前に必ず、すべてのネジの締め具合とタイヤのはまり具合をご確認ください。
Smart Trike は階段、斜面、道路、公道の近くや濡れた地面を避け、安全な場所でご使用ください。
Smart Trike は公園等、屋外での使用を前提に企画されております。

Smart Trikeをご使用のお客様へのお願い

この説明書は必要な時に読めるように大切に保管してください。

製品使用中の安全について

- ・本製品は必ず保護者の監督のもとでご使用ください。
- ・乗車中はなるべくヘルメット、手袋、肘あて、膝あてなどの、安全防具の着用をおすすめします。
- ・一度に乗れるのは1人だけです。
- ・使用中は裸足では乗せないで、必ず丈夫な靴を履かせてください。
- ・本製品は玩具です。お子様がご自分で使用する場合は、正しい使用方法を説明し、注意すべき事柄を具体的に喚起してあげてください。
転落や衝突による本人あるいは第三者の怪我を防ぐため、十分ご注意ください。
- ・対象年齢は10ヶ月から体重17Kgまでです。(耐荷重17Kg)
- ・使用条件に応じて製品の調整を行ってください。
- ・人にぶつかる等の思わぬ怪我の原因となることもありますので、人通りの多いところで使用しないでください。
- ・本製品は灯火装置のない遊び道具です。暗い場所での使用は危険です。
- ・ハンドルバーを急に、または強く動かすと、転倒を招き、怪我をする危険がありますのでご注意ください。
- ・ハンドルバーによじ登ったり立ったりすると、製品が転倒する危険がありますので、絶対にしないでください。
- ・三輪車後部のカゴにはお子様や重いものを乗せたりしないでください。(カゴの耐荷重: 約1Kg)
- ・コントロールバーで舵を取るときは、必ずお子様にフットレストを使用させ、前輪のクラッチ機能をオフにしてください。
(ペダルと前輪が連動していない状態となります) ※P7 [クラッチの操作方法](#)をご参照下さい。

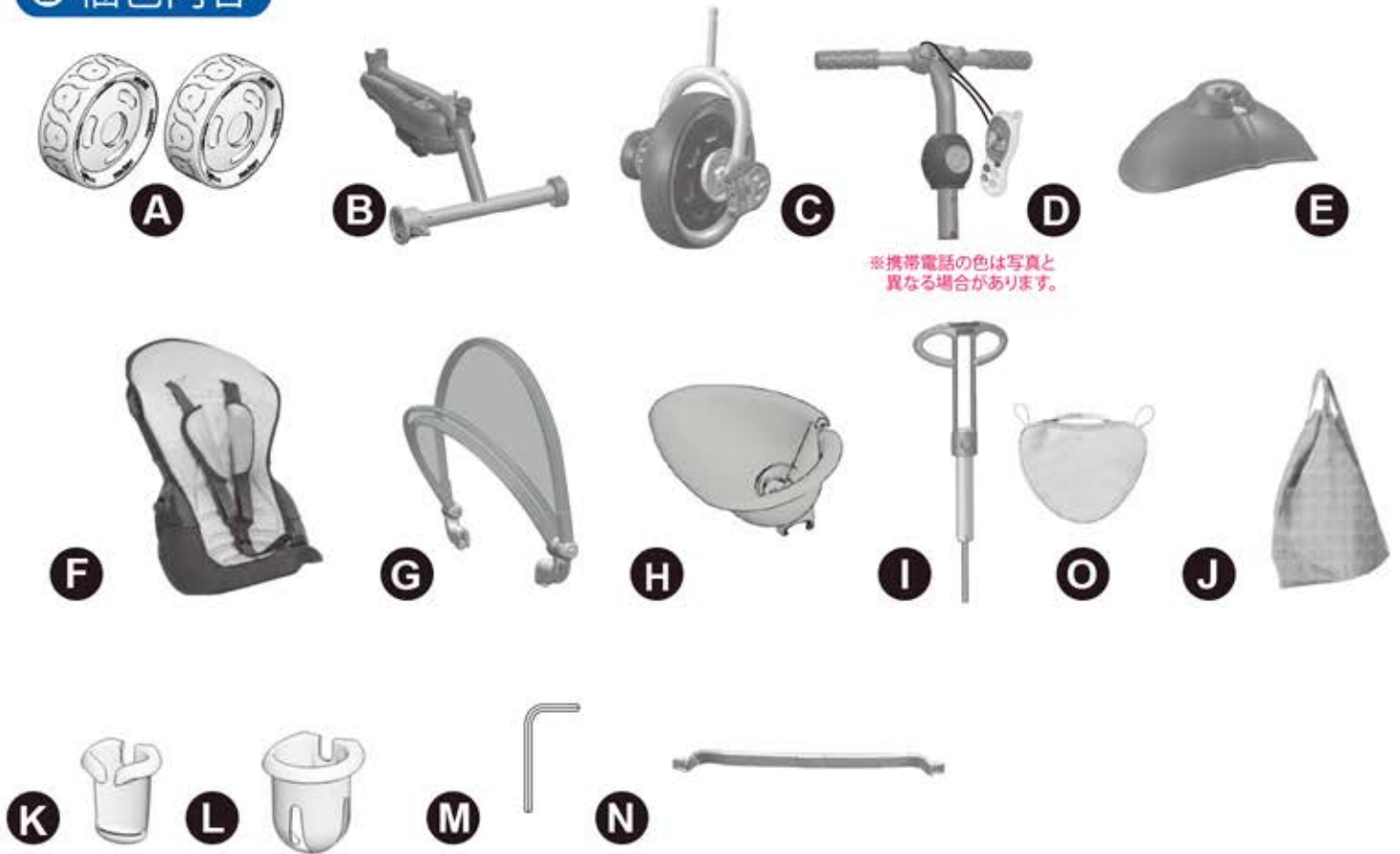
一般的な安全および保守に関する警告

- ・本製品の使用目的は私用かつ家庭用(非商用、非公用)に限定されます。三輪車以外の目的では使用しないでください。
- ・本製品を他の乗り物やスポーツ製品等に連結して駆動あるいは牽引しないでください。
使用時の速度は歩行速度を超えないようにしてください。
- ・お子様が製品に乗った状態で前から引っ張らないでください。
- ・三輪車の使用中にブレーキをかけないでください。転倒や故障の原因になります。
- ・お子様を三輪車に乗せたときはブレーキを過信しないでください。
- ・お子様が製品に乗っている間は、動いていない時も決して目を離さないでください。
- ・製品を組立時の状態に保つため 部品のゆらみやズレの有無を重点に、定期的な安全チェックを行ってください。
定期点検は事故を未然に防ぎます。
- ・破損した部品はお子様の安全を脅かし、製品の寿命を縮めます。また、不適切な修理や付属品の除去も危険を招きます。
- ・製品のお手入れの際、腐食剤や研磨剤を使用しないで下さい。また、環境汚染物質の使用も避けてください。

製品の組立

- ・備え付け以外の工具を使用しないでください。(ドライバーを除く)
- ・組立は大人が正しい方法で行ってください。
- ・組立を始める前に、説明書をよくお読みください。
- ・組み立て作業では工具を使用するため、怪我をしないよう十分ご注意ください。
- ・安全な場所で作業してください。また、梱包材を処分する時は、安全に十分配慮してください。
お子様がポリ袋で遊ぶと窒息の危険があります。
- ・定期的には必ず、すべてのネジの締め具合とタイヤが外れないことを確認してください。

② 梱包内容



※携帯電話の色は写真と異なる場合があります。

※パーツの仕様は予告なく変更されることがあります。

③ 各部名称



ご使用前に必ず、すべてのネジの締め具合を確認して、きちんと組立をしてください。

リクライニング
シート

10カ月頃～

1才半頃～

2才頃～

3才頃～



リクライニングができます。お散歩中にねんねしたときなど便利です。



キャンピー(日よけ)を取り外します。



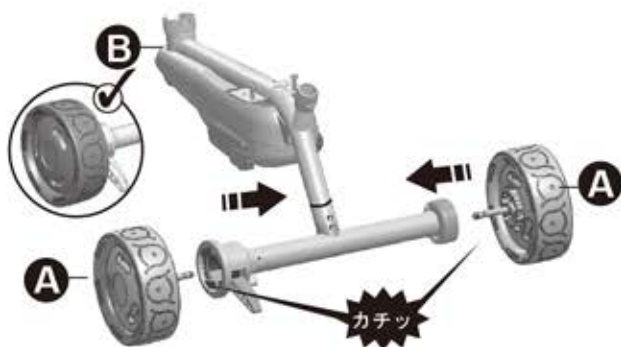
安全ガードを取り外します。自分で滑げるようになったら、フットレストを収納して、前輪のクラッチをONにします。※P7「クラッチの操作方法」を参照ください。



一人で滑げるようになったらコントロールバーを取り外します。

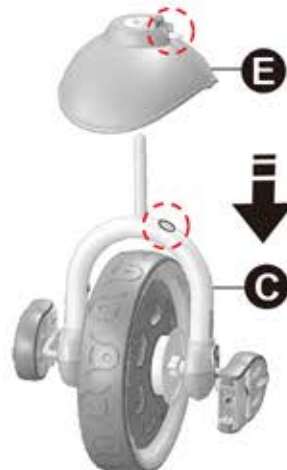
④ 組立て方

1 後輪の取り付け



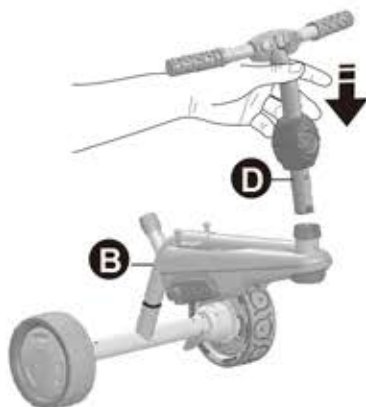
左右の後輪タイヤ(A)をT棒(B)に差し込みます。
※タイヤを装着後、簡単に取れないかどうか
タイヤを引っ張って確かめてください。

2 泥よけの取り付け

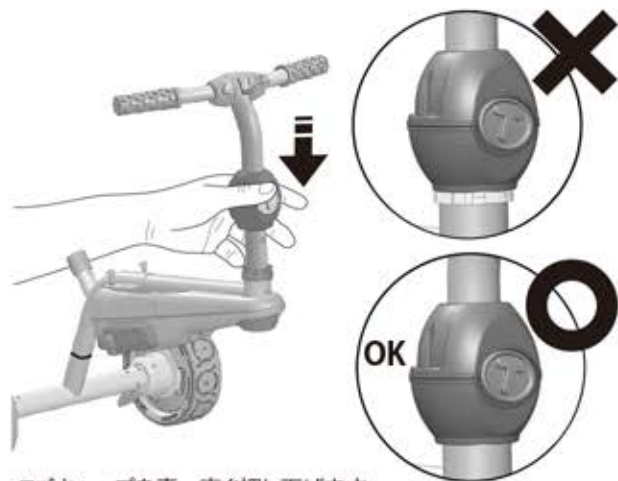


泥よけ(E)のレバーと前輪(C)の溝の位置を合わせて差し込みます。

3 ハンドルの取り付け

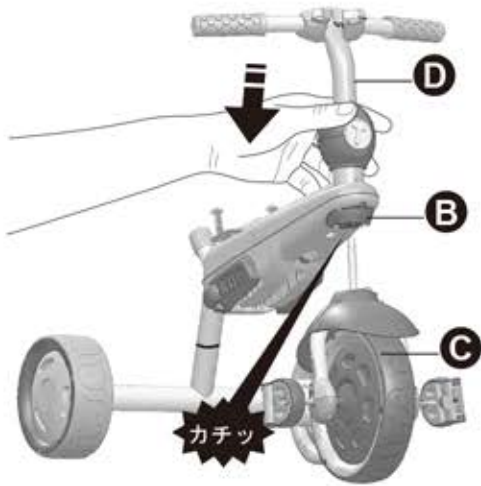


ハンドル(D)は溝に合わせて真っ直ぐ差し込みます。

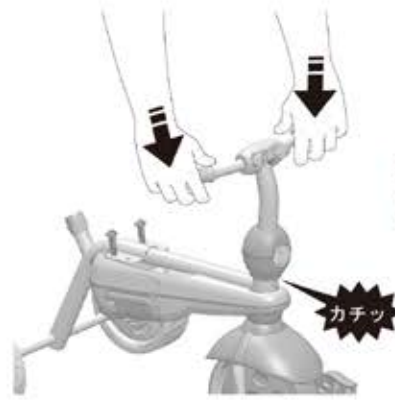


ロゴキャップを真っ直ぐ押し下げます。
下部のプラスチックが隠れるまで押し下げてください。
※作業がしにくい場合は先に前輪をはめる工程からして下さい。

4 前輪の取り付け



本体 (B) に前輪 (C) を差し込みます。

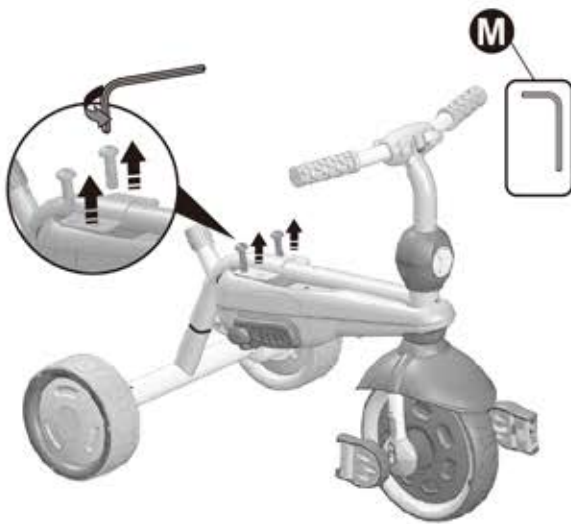


※最後にハンドルがきちんとはまっているかどうか上に引っ張って確認してください。※無理に力を入れるとプラスチックが欠けたり、歪んだりします。

最後に力を入れて押し込みます。

※前輪を壁などに当てて固定させておくとハンドルが差し込みやすいです。

5 イスの取り付け



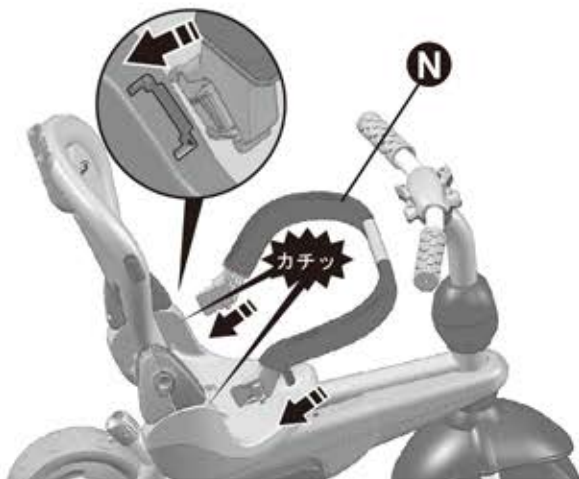
六角棒レンチで本体に付いているイス用のボルトを2本外します。



はずしたボルトをイス (F) に通し本体 (B) に取り付けます。

※イスは後ろの穴に取り付けてください。

6 安全ガードの取り付け



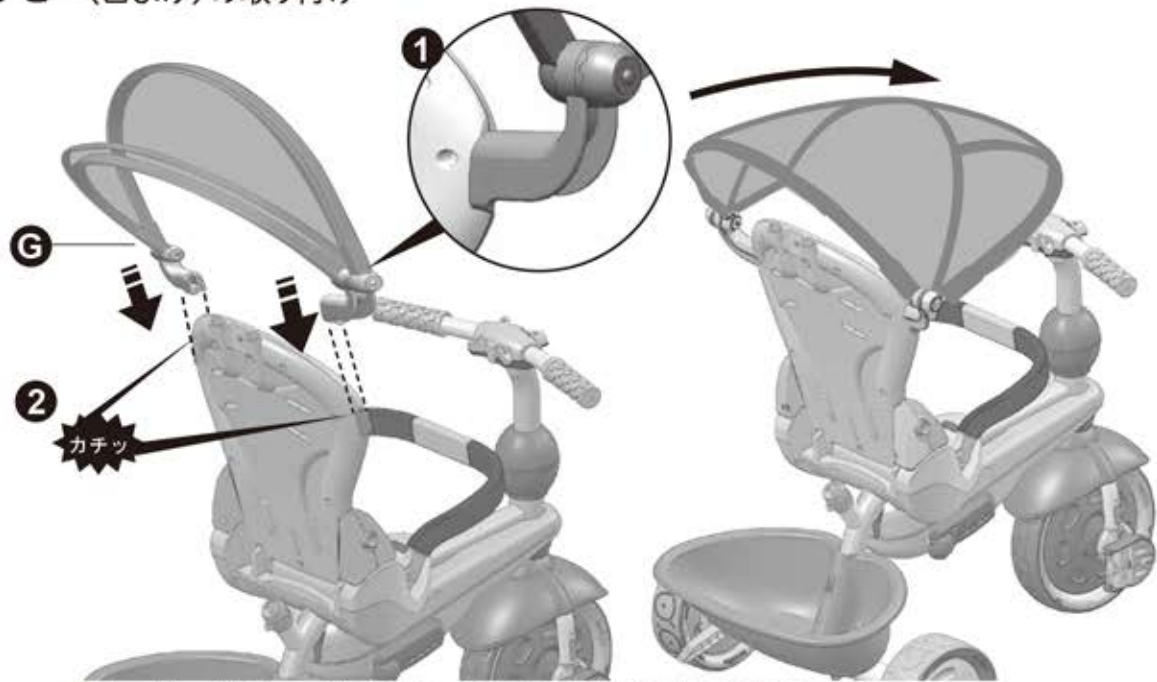
(N)の安全ガードの向きに気をつけ曲げてから差し込みます。

安全ガードの取りはずし



サイドのボタンを押しながら、はずします。

7 キャンピアー(日よけ)の取り付け



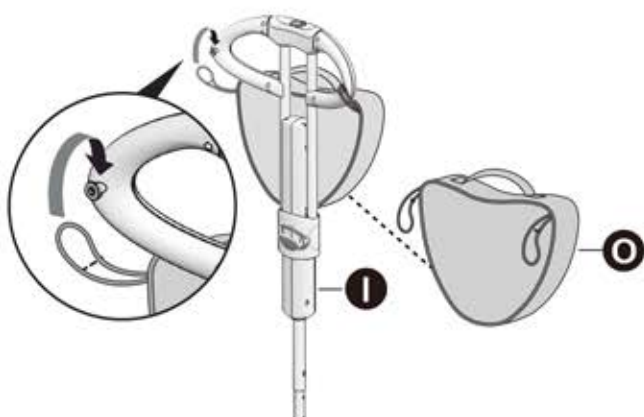
- ① キャンピアー (G) をヘッドレストの穴へ ② カチッと音がするまで差し込みます。
 ※キャンピアーを外す際は、ポッチを押しながら片方ずつ取り外して下さい。

8 カゴの取り付け



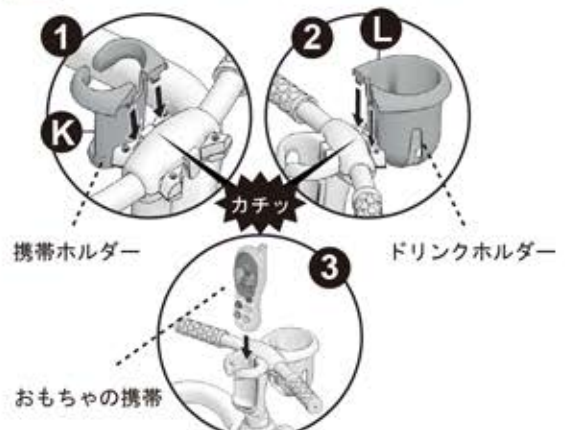
- ① 本体に付いているネジをドライバーで外します。
 ② カゴ (H) を本体の溝に合わせて取り付けます。
 ③ 再度ネジで固定します。

9 バッグの取り付け



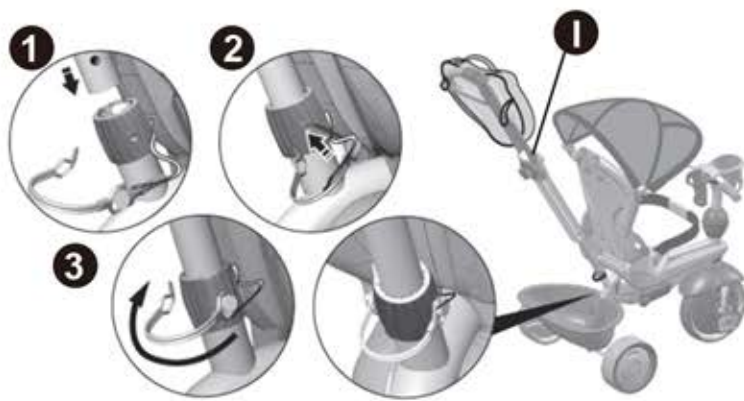
押し棒 (I) に付属しているバッグのヒモを、押し棒の裏のボタンに引っかけてバッグを固定します。

10 ドリンクホルダー&携帯ホルダーの取り付け



- ① ② は矢印方向にカチッと音がするまで差し込みます。
 ③ 携帯ホルダーにおもちゃの携帯を入れます。

11 コントロールバー(押し棒)の取り付け



※付属の金具のピンがコントロールバー(I)の穴に通してある際は、まずピンを外してから押し棒をはめてください。

- ① コントロールバー(I)を本体(B)に差し込み、両方の穴が合うようにしてから、②ピンを差し込みます。
- ③ ピンをカチッと音がするまで引っ張って固定します。

12 収納バッグの取り付け



- ①② マジックテープで固定し、収納バッグをコントロールバー(I)に取り付けます。

5 各部の操作方法

Touch steering

タッチステアリングとは？

業界初の新しい舵取り機能です。コントロールバーを曲がる方向へ傾けなくても、軽いタッチでベビーカーを押しているような感覚で操作できます。

13 ハンドルと前輪の連動&解除のさせ方

① パパママ主導で舵取りする場合

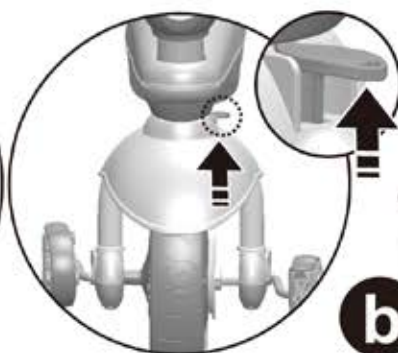
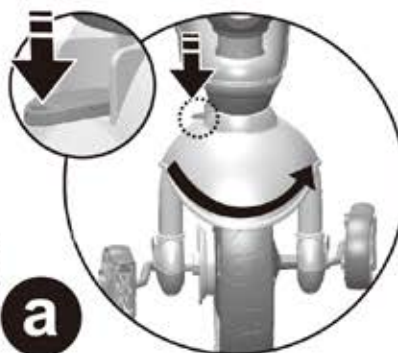
【ハンドルと前輪が連動しない状態】

泥除けの上にある切替えボタンを押して、(a)のようにボタンを押し下げ前輪を180度回転させます。

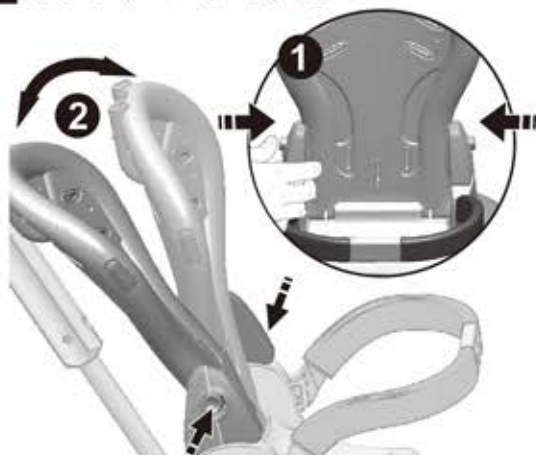
② お子さま主導で舵取りする場合

【ハンドルと前輪が連動する状態】

泥除けの上にある切替えボタンを上へ上げます。



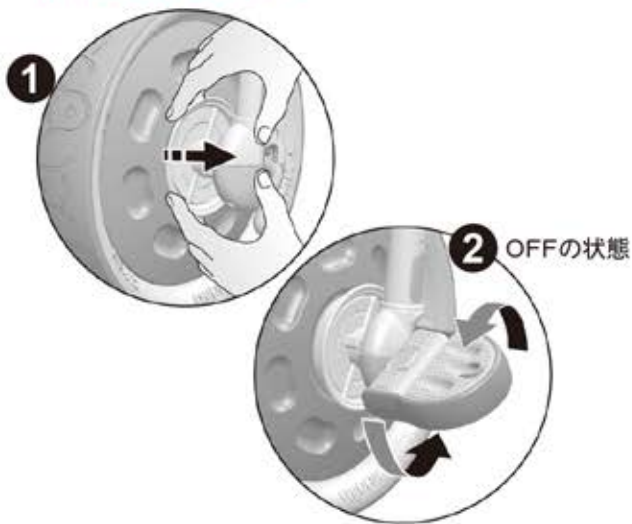
14 リクライニングの仕方



- ① シート(F)の両サイドのボタンを押しながら
- ② リクライニングします。

15 クラッチの操作方法

※爪ではしないでください。



◆一人で漕げない時【OFFの状態にします】

オフにする際は①指をしっかり隙間に入れ 親指を軸にして引っ張って下さい。

OFFにすることで、ペダルと前輪は②連動せず空回りの状態となります。

ペダルがお子様の足に当たってもペダルは止まり、足を巻き込むことはありません。

◆一人で漕げるようになった時【ONの状態にします】

お子様がご自分で漕げるようになったら、クラッチを**入れた状態 (ON)**にします。

ペダルと **連動した状態** になりますのでペダルを漕ぐと三輪車は前進します。

※まだ漕げないお子様は、足を巻き込む恐れがありますので**ONの状態にしないで下さい。**

16 フットレストを下ろす

※ご注意 カズクでフットレストを操作すると壊れる原因になります。



① 本体裏のフットレストを降ろします。

② フットレストを両サイドに広げます。

③ 完了です。

17 フットレストを収納する



フットレストを折りたたみます。



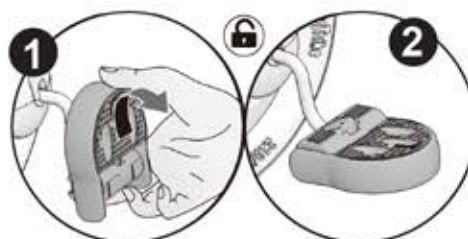
フットレストを収納して完了です。

18 ペダルの準備



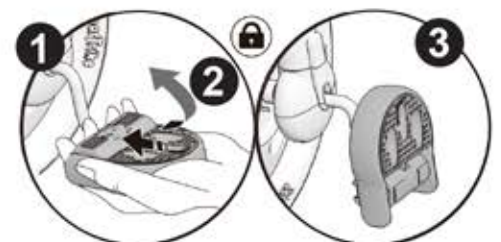
ペダルに足が届くようになったらペダルを固定している紐を切ります。

◆ペダルを引き出す



① ペダルを外側に広げます。 ② 完了です。

◆ペダルを収納する



① 図のようにペダルをにぎり ③ 完了です。
② 矢印の方向へ折曲げます。